

島根県出雲地域の救命救急医療を担う基幹病院へのアクセス向上

- ・三次医療機関である県立中央病院は、出雲市をはじめ大田市や雲南市など県東部・県央部の救命救急を支える基幹病院として重要な役割を担っている。
- ・平成11年8月、県立中央病院は出雲バイパスの部分開通にあわせバイパス沿線に移転。
- ・出雲バイパスの全線開通により、市街地の交通の分散が図られるなど、県立中央病院へのアクセスが向上。

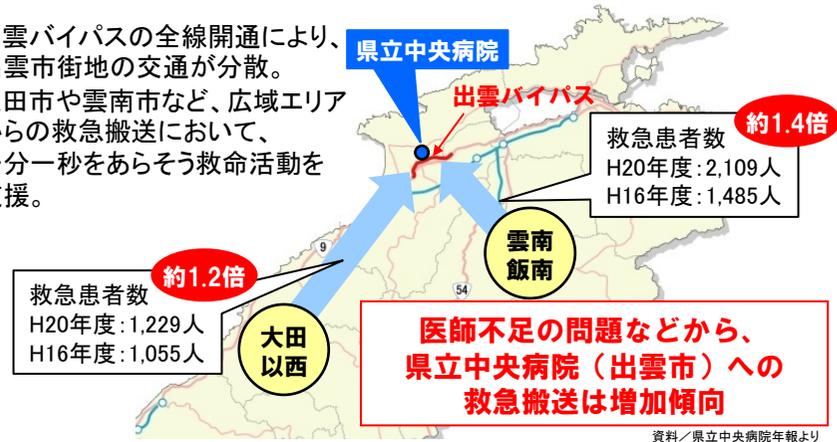


■ 消防の声

- ・出雲バイパスの(全線)開通により、**斐伊川渡河部に集中する交通の分散が図られた**と感じている。
 - ・出雲市消防本部斐川消防署からの搬送では常にバイパスを利用しており、整備前と比べると交通の流れがよくなっているため、**安心感が得られている**。隊員としては**1分でも2分でも早く搬送したい**と活動している。
- ※H22出雲市消防本部ヒアリングより

■ 広域救急搬送の支援

- ・出雲バイパスの全線開通により、出雲市街地の交通が分散。
- ・大田市や雲南市など、広域エリアからの救急搬送において、一分一秒をあらそう救命活動を支援。



■ 交通の分散により三次医療機関へのアクセス性が向上

